

酵素抗体法による猫の血漿インスリン濃度 測定キットの臨床的評価

保田恭志¹⁾ 西飯直仁²⁾ 大場恵典³⁾ 高島 諭³⁾ 高木 充¹⁾
東畑有希⁴⁾ 柴田治樹⁴⁾ 北川 均^{3)†}

1) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科(〒 501-1193 岐阜市柳戸 1-1)

2) 鳥取大学農学部(〒 680-8553 鳥取市湖山町南 4-101)

3) 岐阜大学応用生物科学部(〒 501-1193 岐阜市柳戸 1-1)

4) (株)森永生科学研究所(〒 236-0003 横浜市金沢区幸浦 2-1-16)

(2009年6月26日受付・2010年2月16日受理)

要 約

酵素抗体法を用いた猫の血漿インスリン濃度測定キットを臨床的に評価した。この測定系の同時再現性試験変動係数は2.4%、日差再現性試験変動係数は2.9%であり、希釈直線性試験の回帰直線は直線性を示した。添加回収試験の回収率は94.0～99.4%であった。血清、EDTA加血漿、ヘパリン加血漿の測定値の差はほとんど無かった。臨床的に健康な猫68例の空腹時血漿インスリン濃度は 0.462 ± 0.194 ng/mlであり、人用ラジオイムノアッセイを用いた海外の報告と近似していた。空腹時血漿インスリン濃度は、肥満猫19例では 0.744 ± 0.239 ng/ml、糖尿病猫8例では 0.362 ± 0.175 ng/mlであり、肥満猫では正常体型および糖尿病の猫より有意に高かった。糖負荷試験時の血漿インスリン濃度は徐々に上昇した。この測定キットは、臨床的に猫の血漿インスリン濃度測定に応用できる。

— キーワード：ネコ、血漿インスリン濃度、酵素抗体法。

----- 日獣会誌 63, 449～452 (2010)

† 連絡責任者：北川 均 (岐阜大学応用生物科学部獣医学課程獣医内科学研究室)

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 ☎058-293-2950 FAX 058-293-2964 E-mail : hkitagaw@gifu-u.ac.jp